

eコマース講義を実施

一般財団法人ネットショッピング能力認定機構

ネットショッピングに勤務する

施した。

ために必要な能力の評価・認定活動を推進する一般財団法

人ネットショッピング能力認定機

構(東京・港区)は、昨年12月17・19日の二日間、東京都立武藏高等学校(東京都武藏野市)において、1年生を対象に eコマースの講義を実

験的・職業的自立支援事業(Electronic commerce、電子商取引)は、高等学校教育の場面でも重要視される分野である。平成25年度の文部科学省「高等学校学習指導要領」における「文書デザイン」項目が「電子商取引」に再構成されることからも、その注目度の高さが分かるだろ。

今回、講師を務めたのは同法人理事・杉浦治氏。「eコマースって何?~ネットショッピングの可能性~」と題し、高校生にも分かりやすいよう

事例を織り交ぜ、業界の現状と今後について解説した。その後、それぞれの班に分かれ企画会議を行なが

ら、「適切で効果的なギャッ



真剣な眼差しで講義に聞き入る生徒たち

チ「コピー」を作成し、制作意图について発表した。座学だけでなく実習を併せて行うことで、生徒にとっては知識と体験を同時に学習する絶好的の機会となつたようだ。

この取り組みは、東京都教育委員会の「企業・NPO等と連携した都立高校生の社会的・職業的自立支援事業」の試行プログラムとして位置づけられており、19日には東京都教育庁理事をはじめとした9人の教育庁職員が見学に訪れた。

また、昨年11月にも埼玉県立新座総合技術高等学校(埼玉県新座市)国際ビジネス科の3年生約60人を対象に、別事業として同様の講義を実施。1月17日には、同校の他学科でも実施された。

同法人では、全国の高等学校や大学での講義の実施を目指している。今後も教育機関と連携しながら eコマースに関する学習機会の提供、そして業界への就職を考える学生の支援活動に取り組むこと